

# 今を最高に生きる

愛と奇跡の人 小野春子さん講演会

2008年8月28日

雑学アカデミー

於：広島アステールプラザ

まず最初の一步を踏み出す勇気を持つこと。  
そしてやろうと決めたならば努力をし、  
それを続けていくということ。  
ただそれだけです。  
これができるかどうかは、ほんの紙一重の差でしかありません。



小野さんのお宅の玄関には、  
一年中クリスマスリースが飾られています。  
これは、よりイエスに従って歩み、  
神への感謝の気持ちを忘れないためです。

記録：酒井伸雄 <http://yogananda.cc>

ホームページ内「愛と奇跡の人 小野春子」のコーナーに、  
この講演録、当日配布資料の印刷用ファイルがアップされています。  
どうかご活用ください。



講演は祈りからはじまります。

その場に立ち、目を閉じて、時折両手を挙げ、何かを掴むようにされています。

～ この会場を主のものとしてください。

聖霊を送り、お一人一人の心の目、心の耳を開いてください。

私を立たしめ、力を与え、私の口にあなたのみ言葉をおいてください。 ～

みなさん、こんばんは。

今少し目をつむらせてもらいました。

私は今月の8日に病院に行き、その場で即入院ということで帰らせてもらえなかったんです。

私の診断データがそこに掲示されています。

実際にはいろんなデータが5つほどあるんですが、そのデータでは、普通こうして立っておられないだけでなく、いつ心臓が停止してもおかしくないというデータなんです。

データの読み方がお分かりの方は読んでみてください。最近とったデータです。

だけど私、今祈りました。

いくらでも、こっちからあそこまで駆けります。麻痺してますけど。

ジャンプもできます。

みなさんこれをどう思われますか？

これなんですよ。私が特別なわけではない。

皆さん、潜在的に内面に持っていらっしゃる。

ここなんです。

お手元にある私の病歴一覧表、2006年まで書かれています。

一番はじめの乳がん、これは末期です。

手術しても1ヶ月から2ヶ月の命、どんなにがんばっても3ヶ月と言われました。

私はその先生に今でも頭が上がりません。

いいですか？

末期がんという告知をされ、余命一ヶ月か二ヶ月、がんばっても三ヶ月、これをパチッとと言える先生はなかなかいらっしゃいません。

今多いのは、分からない病気だったらなんでも難病扱いにされるんです。  
もしこの中にお医者様がいらしたらごめんなさい。  
本当にそうなんです。  
難病と言っておけば治らなくて当たり前、死んで当たり前、よくなれば自分の力だ。  
そうでしょ？

昔は医は仁術と言われました。  
仁というのは愛、情け、慈しみ、こんな意味がみな入ります。  
だけど今の医学の先端は算術です。  
分かりますか？  
ひとつ症状が出れば、先生は3つも4つもお薬を出されます。  
お元気な方はお薬を飲むことはないと思いますけど、結構毎日お薬を飲んでいらっしゃる方が多いんですよね。  
でもそのお薬はひとつとして、副作用のないものはありません。  
昔は今のように薬をたくさん出しませんでした。  
栄養的に先生がきちんとケアしてくださいました。  
けれども今は風邪ひとつひいても、抗生物質に胃の薬、それから食欲増進剤に睡眠薬、  
もう4つは出てきてしまうんですよ。  
これでは健康な肉体を害してしまう。  
その時は治っても、たびたび繰り返すことによって、かえって体をダメにすることもあるのです。  
でもお医者さんは人の命を司り、病気を治してくださいます。  
ですから患者はお医者さんに対して依存的になり、先生のおっしゃることを何でも聞いてしまいます。  
聞くなとは言いません。  
でもその前に、なぜ医者に頼らなければいけないのか、それを考えてほしい。  
同じ痛いといっても、お医者さん自身が痛いんじゃないですよ。  
自分自身でしょ。  
たとえば胃が痛いといってもですよ、先生にとってはよくある症状だから、あーだろうこーだろうと  
医学的な憶測だけ。  
でも自分自身が痛い場合は、どの様に痛いかが分かるわけです。  
だから自分自身がなぜ病気になったか、ということをよく考えなければなりません。  
たとえば私のように「がん末期ですよ」と告知をされたら、エーッと沈み込んで、  
本人ばかりか家族や周囲の者も全員落ち込んでしまうのではないのでしょうか。  
どうしたらいいんだろう・・・右往左往して頼るのはけっきょく先生だけです。  
まだ手術ができればいいけれど、がん末期というのは、ほとんど手術されません。  
私の場合は手術してくださいましたけれども。

私をはじめて病院に行った時、体調が悪いのは当たり前です。  
がん末期ですから。  
そしたら即入院です。

エッ、どうして？

「乳がんです。しかも末期です」とおっしゃる。

「先生それは困ります。私なんの支度もしてきていないし……」

で、おまけに、その頃ピアノの教室を持っていたから、生徒さんがいます。

生徒さん達にも、私が休むということを一言も言っていません。

だから「とにかく帰らせてください。三日、四日後には必ず入院の支度をしてきますから」と言いました。

すると先生曰く、

「その三日間でもし死んでも私は保証しませんよ」

「エーッ、私死ぬんですか？」

とんでもないですね。でも私は考えました。

「じゃあ先生、今手術をしてください」

今ですよ。今度は先生が考えられました。

先生は即入院、私は入院しない。

でも今即手術をしてくださるんだったら受けましょう。

さあ先生が三人、看護婦さん婦長さんを入れて六人で考えて、

「小野さん、しましよ」とおっしゃってくださいました。

嬉しかったですね。

「じゃあ先生、局部麻酔にしてください」

なぜか、局部麻酔にして、手術が終わってから帰るつもりなんです。

先生はやりましようとおっしゃる。

これで入院、引き留めることができる。それが狙いですよ。

いいですか、先生との取引をそこでするわけ。

「それじゃ婦長、小野さんをすぐに手術室へ」

すぐ連れて行かれ、そして上半身だけ脱ぎまして、消毒されて局部麻酔。

その時三つがんがあったわけです。

二つは表、ひとつは肋骨(ろっこつ)の下。

だからその時に先生はおっしゃいました。

「三つ目の肋骨の下は、肋骨を外しないと手術できません。どうしましょうか？」

だから私は、

「肋骨は取らないで、できるところまで手術してください」

とお願いしました。

私としては、二度目に手術してもらった時に、肋骨の下のがんを取ってもらったつもりだったんです。

先生はピン詰めになった2個のがん細胞を私に見せながらおっしゃいました。  
「医学にとって貴重なものですから、病院の標本室に保管させていただきます」  
摘出された2個のがん細胞は、それぞれ違った珍しいがん細胞でしたので、その場でホルマリン溶液の小ビンに入れられました。

さあ手術は局部麻酔でしましたよね。手術後30分経ちました。  
「先生、起こしてください」と言いました。  
エッ、今起こしたら出血してダメだよ。  
いや、絶対に起こしてもらわないと困るんです。  
「看護婦さん、起こしてくださ〜い」  
もうしょうがないですよ。  
手術と言えばその日と言いますし、起こせと言えはききませんから……。  
だから先生が来て、自ら私を起こしてくださいました。  
手術台の上ですよ。  
ゆっくりと、横に向きを変えて足をおろします。そして立ち上がりました。  
先生はどうするんだろうと思ってこちらを見ていらっしやる。  
立ちました。たしかにクラッとくるんです。  
まだ局部麻酔が効いて、立てるような状態ではないんです。

その時に私も信仰を持っていましたから、目を閉じて、  
「神さまー!!」と心の中で叫びました。  
さきほど(講演の最初)目を閉じていたのと同じ、瞬間的にピシーッと体が整うのです。  
目を開けたら、あれだけ回っていた周囲がピターッと止まっています。  
そろーっと立ちます。そして静かに横を向きます。  
そして「すみません。今から帰らせていただきます。大変ありがとうございました」  
先生もハッとびっくりされています。  
「先生、私今日はどうしても帰らなきゃいけないんです。  
でも帰さない、死ぬっておっしゃったから今手術をしていただきました。  
再入院する四日目まで、三日間はガーゼの交換で通います。  
そして四日目には必ず再入院しますから待っていてください」  
先生は返事をされませんでした。  
「ありがとうございました」  
私はそのまま軽く頭を下げるようにして先生の前を歩いて帰ります。  
手術台からちょっと離れたところに窓がありまして、私の乗ってきた車が置いてある駐車場が見えるんですね。  
向原から広島まで車で一時間半かかるんです。  
その駐車場の車に行くまでに、廊下を歩いて正面玄関に出ます。  
そしてそこにお医者さんと看護婦さんが並んでらっしやるんですね。  
見ればまっすぐ並ばないで斜めになってるんです。  
私が歩くとヨロヨロするらしいんですね。

自分ではしっかりしているつもりでも麻痺がある、私によろける度にそれを支えるために看護婦さんがターツと駆けつけて近づいてきてくださり、それで斜めになっているんです。

そして声にはなりません「四日目には来ますから」ということを四本の指で示しました。

先生と看護婦さんがていねいにご挨拶してくださいました。

それから私は駐車場に行き車を運転して、そのそばを通過して帰ります。

車の窓から見ると、先生と看護婦さん達がみんなこっちを一生懸命のぞいておられる。

信じられなかったらしいんです。

それから一時間半、自分一人で車を運転して帰りました。

これが第一回目です。

※ 再入院されるまでの三日間、小野さんは各教室の生徒さん達にピアノをご指導され、当時大学院で音楽の勉強をされていた娘さんと呼び寄せ、ガーゼ交換のため往復三時間の道のりを毎日車で病院に通いながら、夜は引き継ぎのための指導書、また万が一の時に備えてなすべき事の明細を作成するため、二時間睡眠でがんばられたそうです。

そして四日目に入りました。

向原から電話をして行きましたら、一時間半後、先生と看護婦さんが玄関で待っていてくださるんです。

「やあ小野さん、待ってましたよ。よく来ましたね！」

なんと入院するような感じじゃなく、歓迎されちゃうんですから。

とても嬉しかったですね。

さあその二回目の手術の日まで、食べる食べる、ほんと、美味しいご馳走がいっぱい並んで出るんです。

末期がん、体がやられていますから体力が落ちてます。

手術前の特別食です。

看護婦さん、ちょっと間食のバナナ、もう一本だけ増やしてください。

すみません、夜休む前にのどが渇くから、ジュースを一本追加してください。

出されるお食事は全部食べます。それ以外はいつもグーグーグーグー寝ているんです。

先生がいついらしても、看護婦さんがいついらしても、いびきをかいていたかどうかは私には分かりませんがね。(寝ていますから)

それでもずーっと寝ている。

さあ明日は手術という晩に、私の枕元にいらした先生が、

「小野さん、ちょっとお尋ねします。

なんと食事はお皿をなめたようにきれいに食べる。

しかも間食にバナナを一本、ジュースを一本増やしてくださいと言われる。

そして医者や看護婦が来ても、グーグーグーグー寝てるんですね。

いやー考えられません」

とおっしゃいましたね。

どう思われますか？

普通末期のがんと言われると、食事はのどを通らない、食欲はない、点滴詰めです。

夜は寝られないから睡眠薬投与、そうでしょ？

私は手術室に行くのに安定剤一本打ちません。

喜んで入りましたから。

これは一体どういうこととおっしゃる。

みなさんがもしそういう状態になったら、みなさんはどうお考えになりますか？

あなたは末期のがんです。たとえ手術をしてもあと一、二ヶ月。

今のように食事を全部食べて、いつ来てもグーグーグー寝て、

「小野さん！小野さん！」て起こさない限り寝ています。

普通末期がんといったら体は衰弱しています。もう立てないぐらい。

強力グロンサンというのをご存じでしょ？

はじめは大きい普通のグロンサンを飲んでいたのですが、そんなものは一本飲んだって効きはしません。

それで小さな強力グロンサンに変えました。一箱に5本入っています。

それを一日で飲むんです。

それで立ってピアノのレッスンをします。そういう状態でした。

で私は言いました。

「先生、末期がんで、しかも成功したとしてもあと一、二ヶ月、がんばって三ヶ月の余命。

こういう患者に先生は手術をしてくださいます。

それは普通の臨床医、外科医の思いではなく、私から言えば『愛の手術』、

この人を生かしてやろうと思われる愛の手術です。

私はそれに応えるべく、食べるものは全部食べ、

睡眠をしっかり取って、心身ともに手術に備えたいのです」

先生が愛の手術を行ってくださるならば、私はその先生の愛に応えるべく万全を期して体を整え、そして手術後先生が喜ばれる生き方がしたいって……。

そしたらその先生、婦長と一緒に来ていらっしやいましたがね、

「小野さん、ありがとう！」って最敬礼してくれました。

「明日は一番はじめ7時に来ます。

遅くとも7時半には手術室に入りますから、よろしく願います」

そうおっしゃいました。

先生が私によろしく願いますって、どういうことですか？

そうでしょ？

よろしく願いますっていうのは、私が言うべき言葉。

「ありがとうございます。明日は楽しみにお待ちしております」

これが手術前の最後の言葉です。

二度目の手術では二本肋骨を取らなければなりません。  
だけど肺が下にありますから、先生にできれば取らないで削ってください。  
削って取り出せるものならそうしてください、とお願いしました。  
そしたらその先生はたしかにそうして下さったんです。

でその手術は、そのN病院ではいまだに『奇跡の手術』と呼ばれています。  
なぜ奇跡の手術か、この「病歴一覧表」に書いてくださっています。N病院のところ。  
「愛称 ETちゃん」、(笑)  
あまりかわいくないETちゃんですね。(笑)  
なぜETちゃんと呼ばれるようになったのか、それは奇跡の手術と呼ばれ、手術をして血液が一滴も出なかったんです。  
どう思われますか？  
エッ、私って動物かしら・・・、動物でも血が出ますよね、昆虫類なら出ないかな？  
なぜ出なかったのか？  
手術室で奇跡が起こったんです。  
私は寝ているから分かりませんでしたけど・・・。

朝7時に来られて、私の体をきれいに消毒され、手術室に運ばれますよね。  
で、手術室に入ります。  
先生が看護婦さんに何ミリと指示をされ、大きな麻酔薬を打たれます。  
で数を数えていきます。  
ひとつ、ふたつ、みっつ、・・・と数えていきますでしょ、100になっても150になっても、ピーンと目が開いたままです。(笑)  
「これ、麻酔効かないよ～」って、  
じゃあ追加って、でも二本打つと意識が戻らないことがあるんです。  
だから大きな麻酔を一本半です。ギリギリです。  
そしてまた数えはじめます。  
50, 60, 70, ...100を超えてもまだ目がパーッとしてます。  
だからこれはダメだってことですよ。  
手術の準備はできているのに、看護婦さんもお医者さんも手術できない。

この部屋は三次元の世界ですよ。縦横高さ、三つの方向があります。  
その瞬間、その三次元の世界がみるみるうちに真っ白くなっていくんです。  
周囲のものはすべて消えてゆきます。  
真っ白くなって部屋の天井を突き抜けて、はるかに高いところにいる白い衣を着た方がターツと降りてこられます。  
そしてその方の身につけておられる白い衣がヒラヒラと動くわけです。  
なんだろう？私は夢でも見ているのかと思った。



でも先生の話し声が聞こえるんです。

「おい、準備ができたらガーゼを使え」とか

「次はどうだ・・・」とかみな耳に入ってくるんです。

だけど、周囲の姿は全然見えないわけです。

真っ白ですから、光り輝くように真っ白、そこに白い衣を着た方がパチーッと留まっておられます。

まさに超次元の世界です。

そしてその方が、ご自分がかけておられた真っ白な衣を私のベットめがけて投げられたんです。

それがヒラヒラヒラヒラと私の上に落ちてきます。

その白い衣が私をスーツと包んだ瞬間、私は空中に浮かんだんです。

これは私自身に分かることで、先生方には分かりません。三次元の世界ですから。

超次元の方が言われました。

「あなたの神、主なるわたしは、あなたの右手をとってあなたに言う。

恐れてはならない、わたしはあなたを助ける」

(イザヤ書 41:13)

こうおっしゃいました。

そのとたんスーツと眠りに入っていったんです。

分かりますか？

それでパッと目が覚めました。

そしたら私のベットです。病院の部屋のベットです。

二度目の手術は4時間から5時間かかりました。

肋骨を削りましたからね。

普通でしたら出血して集中治療室に入るじゃないですか。

それが私の場合、自分のベットに帰ってるわけです。

「あれ、これは自分の部屋かな？」

と思って見回して見ましたら、先生がダーッと婦長を連れて入ってこられました。

そしていきなり何ておっしゃったか。

「小野さん、あなたは一体何を信仰されていますか？」

エーッ、お医者さんがなんで私の信仰を調べなきゃいけないの、そう思うじゃないですか。

そうでしょ？

そしてその信仰が病気や手術とどんな関係があるの、そんなことこっちの勝手でしょ。

そう言いたいところだけれど、先生が先生だから、とても尊敬できるいい先生だから。

「先生、私はキリスト教を信じています」こう答えました。

そしたら先生、

「アッ、それで分かりました。婦長、例のものを持ってきなさい」

そうおっしゃいました。

例のものって何だろう？

そして詰め所に駆けて持ってこられたのはグリーンの大きな風呂敷みたいなもの。

それは手術着ですよ。先生が前から後ろにかけられる。

そこには1センチぐらいの血痕が三つ散っていました。

「先生、それ何ですか？」

「いや小野さん、これは小野さんを手術してメスを入れた時に散った血液だ」とおっしゃるから、  
エッ、私それしか血液がないんですか、(笑)  
ビックリしますよ、本当に。

腋の下から鎖骨の上を通過して、お臍(へそ)の上の方まで切り、  
そして腋の下あたりにリンパ腺が12個あります。  
転移していますから、1個だけ残して全部切除しました。  
そして右乳房を、肋骨を削るようにして切り取られます。  
術後に、皮膚を肋骨に貼られたのです。  
それで出血がないといわれるんですから……。  
エッ、私一体何者だろう？そうでしょ？  
だから血液が出ないから輸血もない、で自分のベットに帰ったんです。  
熱も出ません。痛みもありません。

ただ翌日先生が来られておっしゃいましたね、  
「小野さん、手術させていただいてありがとうございます」  
「いやこちらこそありがとうございます」  
なぜ先生にお礼を言っていたかなければいけないの、そうでしょ？  
だけど先生はおっしゃいました。  
「出血のない異常な現象を目撃しながら手術をしたのはじめてでした。  
小野さん、奇跡の手術ですね。  
その奇跡の手術をさせていただいて、ありがとうございました。  
それから3つめの肋骨の下のがん細胞も、  
はじめの細胞と一緒に標本室に保管させていただきました」  
とていねいに婦長さんと一緒にご挨拶くださいました。

とても嬉しかったです。この喜び、今でも忘れません。  
だから術後もアツという間に治っていきます。  
熱が出ないんですから。  
食欲もあります。  
二日目にはベットで起こしてもらって、三日目にはベットから足を下ろしました。  
四日目にはおトイレにも行かせてもらいました。  
先生と看護婦さん達がけんけんごうごうです。  
「小野さんがこんなことを言ってる」  
「いや小野さんがワガママだ」とおっしゃる。

でも最終的には、

「小野さんの申し出ることはすべて聞いてあげなさい。

僕が保証する」

と先生がおっしゃってくださったんです。

さすがは尊敬している先生のお言葉です。

前向きに立ち上がる意志と勇気、努力なくして、生き抜くことはできません。

四日目に、点滴を持って、ここ33針縫った状態でおトイレに行ってます。

そしたらおトイレのそばに立っておられます。

看護婦さんだから別にどういうことはないんですよ。

でも戸が開いたまま、…すみません、そこ閉めてください。(笑)

同じ女性同士でもイヤだっていうこと。

「ハイ、じゃあ戸の外で待ってますから」って…。

そして座ろうと思ったら足が見えるじゃないですか。

戸の下が10cmくらい開いてるんです。

「ちょっとすみません。足が見えます。廊下に出てください」(笑)

これじゃね。したくってもできないでしょ。

それじゃあしょうがないから、いざという時はそこのスイッチを押してください。

ボタンがあります。

そして出られまして、そこでやっとおトイレさせていただいたんです。

すごい喜びでしたよ。

四日目ですよ、四日目。

普通だったら立ち上がれないっておっしゃる。

そして五日目、六日目、…十日目から少しずつ抜糸していくんです。十日間かけて。

二十日後に全部終わりました。

手術した明るる日に、先生は「奇跡の手術をさせていただいて、ありがとう」

とおっしゃって、いったん部屋を出ようとしてドアのところまで行かれましたが、

そこで振り返り、頭を下げられ、

「小野さん、申し訳ないことをしました。許してください…」と言われたんです。

エッ、手術に失敗されたのかしら、と思いますよね。

じゃないんです。実は右手が動きませんよとおっしゃる。

エーッ、なんで？ 右側のリンパ腺を全部切除してるでしょ。

神経はそのため切断しています。

「先生、私の手、一緒に切り取ったんですか？」

と思わず言ったんです。

「いえいえ、ありますよ」と言って、私の手をこう持ち上げてくださったんです。

人様の手を見るようでした。

アッ、あるんですね。けど麻痺してます。

私がピアノをやっているの、おっしゃれなかったんだそうです。

かわいそうで言えない。全麻痺になりますからね。

で、「先生それ治るんですか？」って聞きました。

するとそこがその先生の素晴らしいところ。

「君次第だ」っておっしゃられました。

そうでしょ？ がんばる気が起こるじゃないですか。

そう、私にとってその先生の言葉ひとつひとつが宝です。いつもそう思います。

生かそうと思う、やってやろうと思う。

右手が麻痺していることをかわいそうだと思って言わなかった、

けど治るかって聞いたら「君次第だ」って……。

そこに「よし、努力してやろう」という気持ちが起きるじゃないですか。

抜糸をした後、その先生は私を車椅子に乗せて、

「ここがリハビリ室ですよ。だからあなたはこれをして……」

と説明をしてくださいました。

電車のつり手みたいなものがあるんですね、それを先生自身がやって見せてくださいました。

「ははー、ありがとうございます」

お礼を言って部屋に帰りましたら、それ以降リハビリ室に行きなさいとは一言もおっしゃいませんでした。

なぜなら抜糸した後は、私は部屋の壁にピターッと張り付いて自分でリハビリをしたからなんです。

病院では朝から晩まで何もすることはありませんよね。

食事をする、睡眠をとる、それ以外の昼間は起きていますから、壁に両手をくっつけて張り付くんです。

左手は動く、けれど右手は動きませんから、左手でもって右手をピターッと持って行くんです。

左手でもって少しずつ……。

そうして左手の親指で右手の親指を支えるんです。

そうやって上がっていくんです。分かりますか？

一日に1センチ、左手は上がりますが、右手は上がりません。

1センチ、二日で2センチです。三日で3センチでしょ。

どうですか？ アーッという間に上まで上がっていく。

退院する時にはあのドアの鴨居にもぶら下がるようになりました。

(「アーッ、すごい」の声)

どうですか？

「あなたはいつも部屋で壁に張り付いて、まるで爬虫類みたい」

だとおっしゃっていた看護婦さんたちは、こんどは鴨居にいつまでもぶら下がっているものだから、まるでお猿さんだと言われます。



ほんと、そういう毎日だったんですよ。

けれども、そういう意欲を起こさせてくださったのはその先生、そうでしょ？

だから本当にケアのできるお医者さんは、言葉のひとつひとつを考えておられますよ。

もう頭から「あなたは難病だから治らない」、そうじゃない、

難病だって努力すれば治るってことでしょ。

そういうケアのできる先生が、今どれだけいらっしゃるか・・・。

私はさきほど言いました。昔のお医者さんの医は仁術だって。

今のお医者さんは算術、・・・ごめんなさいね、お医者さんがいらしたら。

だからそういったことで、患者さんがいかに賢くならなければいけないか、

病人は自分自身なのですから。

これは普段の生活の中でも言えることですよ。

消費者が偉くならなければダメだってこと、何も改善していくことはできません。

今の子どもたちのキレる、イライラする、怒りっぽい、登校拒否、今の世の中が狂ってるんだったら、何がそうさせるのか、自分自身がもっと賢くならなければなりません。

ただ依存して、薬を飲めば楽になる・・・。

世の中見てご覧なさい。美味しいものやご馳走が山ほどあります。

ひとさじの砂糖がふたさじになり、みさじ、よさじになり、・・・

時には口の中に直接入れてしまいます。

美食を求めだしたらどんどんそっちに行っ、添加物を少なくしたり味を薄くすると、

「こんなもの食べられるかー！」でしょ。

私からすると、どうしてこんなものが食べられるのって言いたくなるものを、平気で美味しい美味しいと言って食べている。

それがみなさんの体を蝕んでいっているということに気がついていない。

添加物ひとつでさえ、人間の体を蝕んでいく、これは心を蝕むよりもっと恐ろしいんです。

この「病歴一覧表」に書いてくださったように、私は七つから八つの病院を転々しました。  
そしてその病院すべてで死を宣告されてきました。

ひとつだけ「元気になって帰れるよ」と言ってくださった病院がありました。

それは京都の病院で、全部漢方薬です。

患者さん一人のために漢方薬を煎じて飲ませてくださるんです。

錠剤とかじゃないんです。今でもそうです。

その他ではすべて死を宣告されてきたんです。

どこもそうです。

ここからは出られない、いつ死んでも不思議はない、難病のデパートだと。

だからがんが発見された時、もうすでに膠原病は持っていたということ。

ただ今から三十年も前ですから、それを数値上のデータとしてそのことを言える先生が少なかったということです。

だからどんどんその後も足が立たなくなり、話ができなくなり、目が薄くなっていきます。

杖をついてやっと歩けるような状態、それでも病名が分からない。

そこで先生は考えて、厚生省の専門医を呼ばれて、私を一日がかりで診察してくださったんです。

私一人のために厚生省から県に赴任してこられたんですよ。

それまでに天満屋(デパート)で二度倒れました。

側頭動脈炎といいましてね、血管が切れるんじゃないんです。

血管が浮上して、怒張を起こして、そして意識をなくして倒れるんです。

天満屋で二度倒れ、それを機に厚生省から来てくださったんです。

私が向原から広島市に行くことができなかつたら、先生が家まで行くからとまで言われました。

そして全身性血管炎と診断され、すぐに他の大きな病院に預けられたんです。

そこで完全型ベーチェット、次の病院で皮膚筋炎、筋肉結節筋炎、強皮症合併。

胃にも無数の洞穴、大腸、小腸にも穴ができ、

肺は間質性肺炎、酸素がないと呼吸ができませんし、間質性肺炎は一生治らない病とされています。

心臓もです。心臓も心膜剥離、水が溜まります。

エッ、心臓に水が溜まるって・・・聞かれたことありますか？

呼吸困難になりますよね。痛みもあります。

心臓に水が溜まって心臓がプカプカ浮いたような状態、MRIで撮っていただくと、1センチぐらい心臓と膜の間に隙間があって、そこに水がピシーッと入ってます。

肺もそうです。肺も剥離。

ポロ切れのように膜が垂れ下がっています。

そのうち消化器の粘膜すべてが剥離して、穴だらけ、下血、吐血。

もう腎臓も機能不全で透析寸前。

透析するかしないか、・・・絶対にしない。シェーグレン合併。

がんばったんですよ。

そこからまた病院を転々として、すべての病院で死の宣告。

で最後はもうね、どう言ったらいいか、希望退院です。

「先生、私帰ります。どうせ死ぬのなら自分のお部屋で、自分のベッドで死にたい。

だから帰ります」って。

先生は死ぬ人間を絶対に帰さんとおっしゃる。

でも私は帰ります。強行しました。

「長い間お世話になりました。ありがとうございます。

元気になりましたらまた参りますので、よろしく願います」

・・・まさかと思われたでしょう先生も、死を目の前にして帰るなんて。

その三日前に荷物を全部運んでいただき、病室に来られた主治医の先生と、その後看護婦詰め所に行き、看護婦のみなさんに退院の挨拶をしました。

そして日曜日の朝、娘に車で連れて帰ってもらいました。

日曜日の朝7時頃、先生がいらしても、看護婦さんがいらしてもベッドはもぬけの殻、お布団がキッチンとたたんであって、コップひとつありません。

そしてお家に帰ったんです。

さあベッドに座りました。

二十数年間の病院生活、死を宣告され、本当に死んでいいのか、あるいは生きていと思うのか、自分で問答します。

でも自分の人生、他の人の人生じゃありません。

だからもう一度生きようと思って、なにが自分をこういうふうにしたのか。

まあ末期のがんと言われた時もそうですよ。

私は先生にありがとうございます。・・・なぜこういう言葉が出たかという、いわゆる自分のライフスタイルを見つめ直しなさいという神のお告げなんです。

みなさんそうでしょ？

病気になった時、これだけ元気な家族に囲まれて、なぜ自分一人病気にならなきゃいけないのか。

「なんで私がこんな目に遭うのよ～」と、家族をわずらわさせる方、結構多いんですよ。

私は難病の方をはじめがん、神経症の方たちにたくさんお会いしています。

でもそこですよ。病気は向こうからやってくるんじゃない、自分が作る。

病気っていうのは、いわゆる自分に与えられた『反省しなさい』というサイン、

その時こそ自らを正して反省する、自分の生き方、ライフスタイルをピチーツと変えるんですよ。

何を変えなきゃいけないのか、何が病気を作ったのか、

いらぬものはタッタッタッタと捨てていきます。

私もあれだこれだと思いつくものを書いていきました。

もう書ききれないぐらいいっぱい出てきます。

睡眠不足がありますね。ハードで力一杯仕事をしてきました。

だから強力グロンサンを飲まなきゃいられなくなったんですよ。

そして食事もなっていません。

サッサッサと食べる。ことに私は一人でしたから、ほとんどが外食。

そうしたらラーメンだうどんだ、そういったものにたどり着いて行くじゃないですか。  
そこには本来大切な生きるための栄養はまったくありません。  
偏った食事、ハードな仕事、睡眠不足、・・・いっぱい、限りなくあります。

これをひとつずつ改善していくこと、そのために選び出されたのが、みなさん持っていらっしゃる資料の「3点セット」なんです。

① ニンジンのジュースは、星野仁彦先生自らが病気になられて、ゲルソン療法から学ばれて、現在も実践しているもの。

② それから青いジュースは、これは甲田式療法といいますね。

③ そしてこの根菜類のジュースは、私の考案です。15種類のいろんなものが入っています。

これらを今までずっと続けてきて8年、どーですか？

あの血液が、4,5年前には二十代の血液だと言われるようになりました。

サラサラ、白血球なんてほとんど無かったんですよ。

それでダメになりそうでした。リンパ球もそうです。

でも今は血液満タン、最高の数値です。

ヘモグロビンというのがありますね、あれなんか100%を超えているんです。

「先生、超えたらいけませんかね？ もれますかね？ 血管から・・・」(笑)

するとすぐに「イヤー、大丈夫、大丈夫！」っておっしゃる。

でもこれ、白血球が満タンで、もう少し増えてくると、かえって病気になるかも分からない。

そうしたらドッドドッド下がってくるんですよ。適当に。

女性でしたら9000ですかね。それが今8500。

赤血球もそうです。満タン。

そういうふうに血液を変えるのがこの青いミキサー食、それと疲れを知らなくなります。

まったく。

骨のスカスカ(骨粗鬆症)もあつと言う間にカルシウム120%、骨密度119%となる。

本当に実行してみてください。

夜勤をなさる方とか、ハードな仕事をしていらっしゃる方、そういう方がこの青いジュースを召し上がると疲れ知らずとおっしゃいます。

睡眠薬を用いてる方でしたらぐっすり寝れます。

ふたつの大きな大学病院、地方の総合病院で

「小野さん、この栄養をどういうふうに摂取しておられますか？」とおっしゃる。

食材の種類からいうと35~40種類あります。

サンプルが欲しいと言われ、それじゃ実際にお持ちしましょうと、このコップ半分ぐらいの容れ物に3点セットを容れて持って行き、すべての栄養分析をしていただきました。

そして私の血液を採って合わせて調べられる。

『最高の栄養食』だっておっしゃいました。

実際そうです。この3点セットだけで体がものすごく楽です。

だから今こうして立っていられます。



「病歴一覧表」にもありますが、頸椎が、4、5、6圧迫骨折ですからね。

胸椎も二箇所、肋骨は7本骨折、腰椎は全部5本が圧迫骨折、骨盤にめり込み、そのため骨盤はゆがんでいます。

ベットを立てて、そこに座ったままで、三人の先生と三人の看護婦さんの前で、グシャグシャグシャグシャ、ピシャ、あっと言う間に崩れていったんです。

お医者さんでも骨が折れる音を聞かれたことはないそうです。

骨折で運ばれてくる人は、転けたりいろんなことをして傷害を受けてこられるわけ。

はじめて目の前で骨折するのを見て、聞いて、すごい音だっぴっくりしてらっしゃいました。

まず頸椎から折れます。頭が重いから。

そしたらその重さで胸椎がやられるんです。

そして胸椎が折れたら自然と少し前屈みになりますから、それで肋骨がポキポキポキと左4本と右3本折れていくんです。

その重さで今度は腰椎ですね。あっと言う間でした。

整形外科に入院していた時は、首に大きなコルセットをはめて、胸椎のところは、胸から腋の下まで金属の入ったコルセット、腰もそうです。

横にも下にも全然動きません。

退院と同時に取り外しました。

これは何かって言うと、特別に私がすごいんじゃないんです。

みなさんもそういった潜在能力や隠れた才能、あるいは力を持っていらっしゃる。

それをなぜ発揮しようと思われないのかということなんです。

今日はみなさん、元気な方ばかりいらしてるんだと思います。

でも私のところには末期がの方たちがたくさん来られるんですよ。

でも私がそういう方と2時間もお話をすると、抱えられて来た人が立ち上がって、

ニコニコしながらトットトット歩いて一人で帰られるんです。

連れてこられた方が啞然としてびっくりしてらっしゃるんですよ。

昔から学校で言うじゃないですか、健全な精神と健全な肉体、あれどう言いますかね？

言ってみてください。

「健全な精神は健全な肉体に宿る」、そう、肉体があって精神があるでしょ。

私から言わせれば反対なんです。

自分の精神が健全であれば、よりしっかりした体はできるんです。

人間は生身ですから、蚊が刺したってそこから血が出て、ふくらんでくるじゃないですか。

そうでしょ？ 生身の人間はちょっと当たればすぐ傷が付きます。

そこですよ。だからいちいち体の病気を気にしていたらどうしようもない。

それを何で支えるか。

自分の意志と努力、信念です。

みなさんそれを持っていらっしゃるはず。

医者に頼るなどは言いません。

医者に頼るのも大切なことです。

でもその前に自分がなぜ病気になったのか。

そしてどのように自分のライフスタイルを変えていったらいいのか。

そしてもうひとつ。肉体をリードしていくのは自分の精神です。

たいていの人は「あなたは治りません。手術不可能です」と言われたら落ち込んでご飯も食べられませんか。

先日私のところに遠方の方から電話が入りました。

「助けてください」

「エッ、どうしたの？」

その人とも何度もやり取りをしてるんです。

そしてこの3点をやりはじめて、二ヶ月で見えない目が見え、立てない足が立って、元気いっぱい外に出てらしたんです。

3点をはじめると一時的にやせてくるんです。

なぜかという、脂肪を体外に出します。

そして血液をサラサラにしますから、いらぬ脂肪も全部排除してしまいます。

一度は体重がダーンと落ちます。

私は今50キロですが、一時は38キロまで下がりました。ダーンと。

そしてまた上がってくるんです。

3点でやせ、3点で再び上がってくるんです。

血液が作り替えられたように、筋肉も作り替えられるんです。

その方のところにお友達が三、四人来たそうです。

「あなた随分やせてるわね。あなた一体何食べてるの？」

その方はこれ(3点セット)だって言いました。

「そんなもの食べてるからやせるのよ。太んなきゃダメじゃない」って、ね。

その方達は体格のいいでっけりと太った女性ばかり四人。

「今から買い物をしてきてあげるから、それを食べなさい」

さあ夕方スーパーから買い込んできたのは肉のかたまりに卵が20個、それから牛乳が4、5本です。

それを毎日毎日食べさせられた。

で、3点はもう食べられません。監視されてるから。

それに自分も太りたいと思ってます。

お友達に

「なんてそんなみすぼらしいかっこうして、やせてからー！

そんなんじゃ元気になるわけじゃない！」

こんな風に言われてごらんない、ああそうかな、もうちょっと太りたいな、そう思いますよ、人間だから。

それで三ヶ月音信不通、私はちょっと心配していたんです。

その人はやりだしたら一方的で言うことを聞かない人だから。

で私が心配で電話をかけてみたんです。向こうからはかけにくいでしょうから。  
そしたら「すみません」って、ああやっぱりねと・・・。  
実はお友達がこうこうこうで・・・、今は少し太ったんです。  
けど歩けません。目がかすんで見えません。全身に痛みがきます。  
さあどうですか、三ヶ月ですよ。太るには太ったけど、・・・。  
「でもあなた太りたかったんでしょ？」て言ったら「そりゃもちろん！」  
けど私は言ったじゃないですか、一度やせても、またキチッと新しい細胞が作り替えられますって。  
50歳の方ですからね、まだ若いんです。私は今78歳です。  
それでどうしますかって聞きました。  
私はやり直すんだったら一時間でも早いほうがいい。  
やり直すかどうか・・・、そしたらその人、一生懸命やるって言いました。  
あの時に二ヶ月、見えない目が見え、立えない足が立って、お仕事もできるようになっていたのに  
・・・。  
でもそれをやめたのは私じゃない、あなた自身じゃない。  
それを本当に反省するなら即実行しなさい。  
今は再びやってらっしゃいます。  
元通りになるかどうかは分かりませんよ。  
いったんそういうふうになると、なかなか思うようにはなりませんからね。  
毎晩、二日三日おきぐらいにアドバイスしています。  
一緒に祈ります。  
もしできるなら、行って差し上げたいなと思っています。  
まだお会いしたことがないんですよ。  
東京や東北で講演した時には、彼女来ていませんでしたから。  
お友達から聞かれて、私と電話連絡するようになったんです。

私がここで何をお話ししたいか、この中にも病気を持っている方がいるかも分かりません。  
でも言えるのは、私は病気を持っているから死ぬ、私は健康だから死なないということはないんです。  
人間は生まれること、病気を持つこと、年を取ること、そして四つ目には必ず死ぬということです。  
私は死にませんよーって言うてる人でもコロッと死んじゃうかもしれませぬ。  
ほんと、あるんですよ。交通事故だってあるし、脳溢血だって、怪我をして死ぬ場合だってあります。  
だから今から残された自分の人生、それが長いか短いかは関係ない、その人生を、  
『今まで生きてきた人生の何倍も生きる喜びがある』、こう思える人生にしたいと思いませんか？  
どうですか？（拍手）

私はあるところで「命のデザイン」というテーマで講演させていただいたことがあるんです。  
命のデザイン、よく考えてみてください。  
あなたがたのこれまでの、赤ちゃんの頃からの歩み方、これもデザインになりますよね？  
ただござらに今これからですよ、自分が生きていく、そのあり方をコンテストに出して、人に見せら

れるようなデザインにしてみてもいいですか？

そのためにはいろんな注意点がいろいろありますから、それをお話しします。

人間が生きていくためには一人では生きられません。

人という字は、人同士が支え合うようになっています。

その前にね、ほとんど結婚してらっしゃいますよね？

独身の方もいらっしゃるかもしれないけど、独身の方もいずれは結婚なさるわけだから。

男性と女性、これが結婚して夫婦になります。

アダムとイブというのを聞かれたことがありますか？

アダムが男性、イブが女性ですよ。

このアダムとイブ、男性のアダムの方が先に作られたんですよ。

いいですか、これは土で作られたわけ。

土で神の形に似せて作られたの。

そこに命がなかったらただの人形ですから、そこに神が鼻の穴から聖霊を吹き込まれて、そこに命が宿ったと聖書にはあります。

そして神との語りができ、お話ができる人間ができたんです。

けどアダムが一人黙々と仕事をしているのを見て寂しいだろうと思われて、女性を作ってやろうと思われたんです。

それで、女性は何から作られたと思われませんか？

男性は土から、女性は男性のあばら骨から作られたんです。

これは大きな教えなんです。

けっして男尊女卑で言うんじゃないんですよ。

やっぱり男性と女性の役割というのは違うんです。

私たちが男性になろうと思ってもなれないんです。

今頃はいろんな手術をして、男性が女性になったり、女性が男性になったりしていますが、中身は変えることはできません。

なぜ女性は男性のあばら骨から生まれたのか、人間の体の中でもこの肋骨（ろっ骨、あばら骨）はすごい力を持っているんです。

それから軟らかいんですよ。

みなさんこのあばら骨のところに手をやって、深呼吸をグーッとしてごらんください。

このあばら骨がフワーツと浮き上がります。

そして息をフーツと吐きます。

そして上がった肋骨が下に下がります。

これは何を意味するか、・・・この肋骨の下には何がありますか？

肺や心臓や、人間が生きる上で最も大切な臓器が収められているでしょ。

それを今の男性と女性、仕事の上でも見てごらんください。

女性は家庭を守る、子供を産み育てる。

ご主人が疲れて帰った時にはご苦労様、美味しいお食事をして、また元気になって明日もお仕事に行ってください。

そして内臓のひとつひとつ、子どもの一人一人が病気になれば、お母さんは必死になって看病します。

ご主人は極端に言えば、お金のために働いていると思われるかもしれませんが、けっしてそうではない。

奥さんを愛し、子どもを愛し、そのために自分の身を削って働いてるじゃないですか。

そこ、そこに意味があるんです。

なぜ肋骨か。包容力、忍耐力。

いいですか？中で守られているのは家族一人一人です。

だから女性というのは大きな役割を持っています。

そしてそれをあらゆる面で支えるのが男性です。

そうでしょ？

そこをよく自覚して、男性と女性はなぜ結婚し、子供を産み、家族を養うのか。

そして一人一人の子どもが独立して、また夫婦がそこに生まれます。

これはその人の人生というよりも、人間本来の姿なんです。

そういうことでアダムとイブが作られ、現在の私たちがこうして生きているというわけです。

だから何事をする時でも、自分のことばかりを考えるとうまくはいきません。



ロックフェラーは、ほとんどの方ご存じですよ。

今は亡き世界一の富豪ロックフェラーのことを知らない人はいません。

今の教育から医学から、あらゆる分野で財団が援助しています。

あのロックフェラーが五十代までどういった人間だったかご存じですか？

お金の亡者です。金、金、金、・・・。

彼は自分の取引先の船がいっぱい荷物を積んで、数百万ドルの荷物を積んで運んでいる時、ちょうど大嵐になりました。

さあ大変ですよ、その船が沈没したら数百万ドルの損害ですから。

けれども彼は保険をかけるお金をけちって保険をかけていなかった。

だから自分の側近に「保険をかけたか？」とおっしゃる、

「いや、かけていません」、「じゃあすぐに行って保険をかけろ」

その保険、わずか150ドルですよ。

どうですか？ それをけちって保険をかけなかった。

それですぐに行って保険をかけました。

だからその船が沈没しても莫大な保険金が入ってきます。

そしてその従業員が保険をかけて帰ってくる前に、その船で輸送して荷物を陸揚げした自分の部下から、「社長、今荷物が無事着きました。安心してください」と報告がありました。

さあその時ロックフェラーはどうだったか、

「あの150ドルを無駄にした。こんなもったいないことはない」って怒り出しました。

さあ食事はのどを通らない、睡眠は取れない、イライライライして、もう神経衰弱のようになって、帰って床に着いちゃったんです。

それだけ金の亡者だったんです。

だから親子、兄弟ともまったく行き来がありません。

それは交際するのにもお金がいるんですから。

そうでしょ？ だからお友達も一人もいません。

みんなで4、5人でどこかに行って、楽しくビールでも飲もうといっても、そんなものって、お金のかかることは一切やらないんです。

そして倒れそうな他の会社は助けるどころか、踏み倒して合併、合併です。

彼の経営していた石油会社は、裁判で最終的には世界最高の賠償金を取られたでしょ。

周りの人たちをみんな泣かせてきて・・・、53歳までの彼はそういう人物だったんです。

鬼のようにいやがられ、ケチ、ケチ、ケチ、これほどケチなものはいないってぐらい。

自分の食べるものまでケチった。それで病気になった。

その病気はありとあらゆる病気です。

皮膚から神経からなにかから・・・、お医者さんもかって見たことがないような。

世界中の医者連れてこいと言っても、診る先生は誰もいなかった。

その時ロックフェラーは、お金がいうことを聞かないこと、お金がすべてではないということを知ったんですよ。

そうでしょ？

お金が自分を助けてくれるわけではない、病気を救ってくれるわけでもない。

そして彼は考えました。このお金をどの様にしようかと。

その頃彼の奥さんは慈善事業をしていました。別個に離れて。

それに目を付けたんです。このお金を人のために使おうと。

急転直下ですね。

一番先に考えたのが、自分が病気になってもそれを治す医者がいなかったということ。

それでまずそのお医者さん達に、伝染病、疫病を治す研究をさせること。

そしてロックフェラー財団が、たくさんの病気の治療、予防のために惜しみなく投資をはじめました。

ジフテリア、百日咳なんかもそうです。

それから人材を育てるための医学校を作りました。

今のシカゴ大学はロックフェラーが建てたんですよ。大きな学校です。

世界中のそうそうたる医科大学もたくさんロックフェラー財団が建ててます。

アメリカにはロックフェラー医科大学というのがあります。

だから晩年、彼の石油会社が訴えられて、世界でもはじめての巨額な損害補償を求められても、そんなことまったく気にも留めないぐらいすっかり人間が変わっちゃったんです。

普通だったら目くじらを立てますがね、お金が一番大切なものではないということに気付いたんです。

お金がある、ものがある、すべては誰のためにあるのか。

自分のためじゃないんですよ。

求める人があるならその人に与える。

相手があるから自分がある。

そうでしょ？

私が今ここに来て、こうしてお話をしているのも、みなさんが聴いてくださるからお話ができる。

だから本当に、心からありがとうございますと申し上げます。

死ぬる死ぬるでずーっとやってきて、こうして今生きているのも、こうやって話を聴いてくださる人、あるいはお付き合いをしてくださる方達がいるから生かされています。

絶対に自分一人では生きてはいけません。

そうでしょ？ 相手がいるから、相手が生かしてくださるから生きていける。

みなさんが私の話を聴いてくださるから、私は喜んでお話をさせていただけるんです。

頑固(がんこ)というのがあります。

頑固、固執、自分の信念に凝り固まった人、そういう人を見たことがあると思います。

自分の意見を変えない、何人か集まって話をしても自分の意見を押し通す。

そこには何があるのか？

そういう人は自滅していきます。

誰も相手にしなくなります。

そうでしょ？人間関係で一番大切なものですから。

人間ですからいいところも悪いところも・・・、長所、短所いっぱいあります。

だけどほとんどの人は自分の欠点をカバーして生きています。

みなさんいい衣を身につけて社会に出て行くじゃないですか。

家に帰ったとたん、どうなりますか？

ホッとするのはいいけれど、惨めになるのは自分自身でしょ？

それを逆さまに持っていき、ありのままの自分を素直に受け入れることができるかどうか。

少し考えてみてください。

自分の欠点は自分だけではよく分かりません。

ありのままの自分、自分しか気付かない自分、それを素直に受け入れることができなかつたら、どのような人をも受け入れることは不可能です。

排除してしまいます。

ましてや自分に意見を言われたら、絶対にその人とは再び会う気にはならないでしょう。

でも聞く耳を持たなければ、人間は成長しません。

子どもからも学ぶところが多いんですよ。

この間、止揚学園の福井達雨さんの本を読みました。

※ 止揚学園は、理想的な障害児教育を実践していることで知られる滋賀県の学校です。

桜が咲いています。きれいだな。

そして誰かがそこに行って、桜の花を摘みました。

そうしたらある障害を持った子どもさんが、

「痛い、痛いって言ってるよ」って言いました。

桜の花を摘んだ大人は分かりません。

そこで「〇〇ちゃん、痛い、痛いって、どこが痛いの？」と聞きました。

「桜が痛い、痛いって言ってるよ」

さあ、その大人はガーンとやられましたよ。

花一輪にさえ、そういった表現、心遣いのできる子どもさんのことをどう思われますか？

素晴らしいでしょ？

だから私たちはもっと聞く耳を持たないと・・・。

子どもだからといってバカにはできない。

かえって子どもの方が精神的に成長しています。

大人は知識や知恵で成長している。

子どもは心で成長しています。きれいです。

みんな平和でありたいねって講義された先生がいるんですって。

障害を持っている子どもが、平和って分かるかなって。

「〇〇ちゃん、平和ってどういうことか知ってる？



先生、分かんないから教えてちょうだい」  
とおっしゃった。すると〇〇ちゃんが、  
「みんなで楽しくご飯を食べることだよ」(笑)  
いやー、私は頭が下がりました。  
世界中の人たちが同じテーブルで、同じご馳走を、美味しい美味しいって食べられたら、戦争なんて無くなるじゃない？  
そうでしょ？だから老いては子に従え。  
それから聖書の言葉ですが、  
**「私たちは幼子のようにならなければ、神の国に入ることはできない」**  
とされています。

だから人間成長するためには、まず聞く耳を持つということ。  
たとえばですよ、向こうは大学でのバリバリ、こっちは小学校しか出ていない。  
そんな場合でも、大学を出ようと、小学校を出ようと、お小遣いさんであろうと、社長であろうと、そんなことは関係ありません。  
話をする相手は全部尊敬しなければいけないし、その人のお話しされたことを、心の中に入れて持って帰る。  
それをどのように吟味するかはその人の勝手です。  
でもそこから学ぶことがいかに多いか。  
知恵がありすぎて固執する。知識がありすぎて人の意見を聞かない。  
かえって表情まで厳しくなって批判的になります。

いいですか？ だから一日をどのように過ごすか、みなさんの最高の笑顔を作ってみてください。  
笑顔のでない人はないでしょ。  
声を出して笑われてもいいですよ。  
笑顔、笑顔が人を喜ばし、人を引きつける。  
いいですか？ 相手とどのような関係であろうとも、笑顔ひとつで和合していくんです。  
だからできるだけ、朝起きたら笑顔を作ることを実践してください。  
鏡を見ますからね。  
これは女性だけではなく男性も、顔を洗って歯を磨いて、頭にクシを入れて、  
鏡の前でニコニコと笑ってみるんですよ。  
同じ笑顔をするんだったら最高のね。  
男性なら女性がハッとするような、女性なら男性がワーッとするような、そういう笑顔を作って、朝から晩までニコニコ。  
一人でもいいんです。一人の時でもニコニコ、ニコニコ・・・。  
「あの人ちょっとおかしいわね。一人で笑って・・・」(笑)  
そんなこと関係ありません。  
そんなことを言う人に限って、いつもムツとした顔をしています。  
ちっとも幸せになれない。

いいですか？ 笑顔こそ、大きな力を持っているんですよ。

病院に入院してたってそうです。

自分のベッドにいて、隣の人の顔を見て、

「おはようございます。今日もご一緒に、よろしくね！」

って笑顔を送ることですよ。

かたやムッとこんな顔をして(笑)、私はそんな状態じゃない、あっちが痛い、こっちが痛い、もう今は大変なんだ…。

だからこそ笑顔を実践するんです。

笑顔は隣の病人をも癒す力があります。

どうですか？ この力は医者にはありません。

あなた一人一人の笑顔が隣の人を癒すんです。

隣の人、前の人を喜ばせる、最高ですよ。

周りの人を喜ばせる人は最高の人！

たとえ着の身着のまま、みすぼらしい格好をしていても最高の人間です。

いいですか？ 紳士淑女然として、最高のブランド商品を身につけて、ポケットから出す財布の分厚いこと、エーッ、いくら入ってるの…。

そんな状態でも、顔にも心にも笑顔がない、相手を思いやる気持ちがない人、貧しい中でも最も貧しい人です。

いいですか？ 私から言えば、愛を与えることも、愛を受け取ることも知らない人こそ貧しい人の中でも最も貧しい人です。

人から「これどうぞ召し上がってください」と言われても、

「私はそんなものは食べない。最低だから。

私はこんないいものを食べてますから」

それは愛を受ける資格のない貧しい人。

それがごま塩をまぶしたおむすび、小さなお団子であろうと、大きなケーキであろうと、それが与えることのできる愛、受け取ることのできる愛、それが素直にできる人、最高です。

これができない人が結構いるんですよ。

そんなもの食べられるわけないでしょ。

なーに、バカにしないでよ。

そういう人はいずれは自分自身で落ち込んでいくんです。

だんだんだんだんと、けっしてそのような心の貧しい人にはなっていたきたくないなと思います。

どうでしょう？(拍手)

ご質問があったら、話の間でもしていただいたらいいですよ。



\*\*\*\*\* 休憩時間 \*\*\*\*\*

講演に行くと、私もてるんですよ。(笑)

男性の方達から抱きつかれて、女性からも手を引っ張られて。



9月に呼吸困難を起こしましたよね。

これが1999年10月、一度死にました。

一時間呼吸停止、心臓停止、娘は葬式の支度をして、今から遺体を取りに行きますと、そういう状態だったんです。

二度目の心臓停止も一時間後に回復しました。

一度目は霊界、私を案内してくださったのはアロンという方、モーゼのお兄さんです。

神がアロンを一番最初に「あなたを祭司にしますから」とおっしゃった。

まだその前に祭司はいましたよ。

でもそういう召命を受けて、レビ族として一番最初はアロンです。

そういう方が私を霊界に連れて行ってくれたわけです。

二度目の呼吸停止は、最初のがんの手術を受けた時の朝のような真っ白な超次元空間、あの時と同じく一と高いところから下界を見下ろすことができました。

私たちは、亡くなった方には手を合わせます。

これは普通の人でもできる。

でも一人の看護婦さんの様子を私は見ました。

と言うよりも、見せられたのです。

人間の裏表を知りました。

神は人の中を見られますから。

死体をバーッと蹴ったり、枕を取って投げたり・・・、そんな様子が見えるんです。

病室に映った光の十字架を、プロのカメラマンの方が撮っても写らないんです。  
名誉欲がありますから。

この写真は私の向原の知り合いの方が撮っていただきました。

これはちょうど12月24日、クリスマスイブの夜、午後6時になるとピターッと壁の中から光の十字架が現れてくるんです。

翌朝5時まで現れています。

クリスマスより翌年2000年4月イースターまで、同じ時間、毎晩出現いたしました。



\*\*\*\*\* 質疑応答 \*\*\*\*\*

● これまで4000枚の色紙を、ほとんど手の動かない状態から画かれたとのことですが、その苦労話をお聞かせください。

花の絵の色紙は、全身麻痺の時から画きはじめました。

手も上がらないでしょ、寝たままですから。

ベッドに寝たまま、手に弾力包帯を巻き、そこに看護婦さんが色鉛筆を入れてくださるんです。

腕の下にクッションを入れて、色紙は譜面台があるでしょ、そういうのを作っていただいて、そこに固定してもらったんです。

だからそこに届くようにと、一生懸命手を伸ばして画いたんです。

一本の線が画けるまで二ヶ月かかりました。

線を引くだけですよ。

二ヶ月かかって、一本の線が引けた時の喜び、どう思われますか？

ほんと、忘れられませんよ。嬉しくて嬉しくて・・・。

それから次は何に挑戦したか、三角です。

三角が画ければ四角は画けます。

その三角も二ヶ月です。

で、丸に挑戦しましたが、丸がなかなか画けないんですよ。

上から下に丸く、が画けないんです。

下から上には画けるんです。

いったん下に下がった腕を、再び上に上げるのが難しいんです。

今でもそうです。

全国の方達に、今まで4000枚の色紙を画き、送り続けました。

もちろんその方のお好きな花です。

花の絵っていうのはいいんです。

好きな花は心を和ませます。

ご自分の好きな花、目の前にいけていてもいいじゃないですか。

そして色、色はストレスの解消になります。

そういう面からね、その花の色、そして言葉は、落ち込んだ人を勇気づける、力をつける、そういう支えになります。

「病歴一覧表」に、「火の玉が身体の中に入る」と書いてくださっています。

その時からです、絵を画きだしたのは。

私は朝日を見るのが大好きです。

この中でイライラしたり、落ち着かなかったり、あるいは眠れない人がいたら、朝日を見てください。

朝15分間見るだけで、十日たったらきれいに治ってます。

うつ病の方が朝日を見られたら効果てきめんです。

絶対に治るんですよ。

この太陽の光ってというのは、今の時期でしたら10時ぐらいまでですよ。

それ以降は太陽の光が強くなりすぎます。

今は10時でもきついかもしれませんね。

冬でしたら10時までの太陽の光、これをず一つと体に浴びる。

で、私はいつも山の方から昇る太陽を見ていました。

N病院の時もそうです。朝看護婦さんが山から昇ってくる太陽が見えるところに連れて行ってくださるんです。

今は建物があるから山は見えませんが、昔はないからよく見えていたんです。

そして大学病院に替わる時に、朝日が見える部屋に入院させていただきました。

婦長から婦長に伝言があったんです。

だから私は寝たままでこの絵が画けたということです。



これは昔の西病棟からの景色です。今はありませんけど。

そこから太陽を見ている時に、あの太陽の昇る姿にすごく力をもらうんです。

太陽が昇るところを見られたことがありますか？

あのね、半分出るんです。半分だけ出て、あとは徐々に徐々に昇るんじゃないんですよ。

半分出て、そしてブルブルブルブル震えるんです。

あれ、なんで震えるんだか私にも分からないんですが、気圧とかの関係でしょうか。

そしてしばらくブルブルとした後、ポーンと飛んで出るんです。(笑)一気に。

沈む時も同じです。

私になぜ朝日を見だしたかという、ドイツにボンフェッファーという神学者がいました。

ドイツの神学者であり牧師ですが、その人がナチに追われてアメリカに逃亡したんですが、また再

びドイツのベルリンに帰りまして、自分の同胞たちを助けるわけですね、死ぬまで。  
その人が明日死刑になるだろうというのは自分で分かりますから、ナチの収容所、アウシュビッツ  
収容所ですか、そこでみなさんに  
「明日の朝昇る太陽の中に、私はイエスとともにいる」とおっしゃったんです。  
そして明け方の4時に銃殺になりました。  
そのボンフェッファーの書が、私を今の信仰に導いてくれたのです。

もう一人は日本にいらっしゃいます。  
ここに妹さんがいらっしゃいますが、森野善右衛門先生、この方がボンフェッファーの翻訳をされ、  
ご自分の書かれた信仰書を含めて、たくさん本を私にくださいました。  
このように、森野先生からボンフェッファーの学びを、更に先生の書を通して信仰を深めさせてい  
ただいたんです。  
元東北学院の神学部の教授、今は引退していらっしゃいますが。

そして私が朝日を見ながら、「私もあの太陽の中に、イエスとともにいる」とつぶやいたとたん、  
太陽が山から飛び上がった瞬間、太陽が私めがけて飛び込んできて、座っていたベッドから落っ  
こっちゃったんですよ。  
私から見れば、太陽が私に激突したんだと思っています。  
そしてその時から、いろんな力が出てきだしたんです。  
三次元的ないろんな障害物がなくなります。この世界が超次元の世界になります。  
それから絵を画きだしたんです。

「自分の体をもって、神の栄光を現しなさい」

( I コリント 6:20 )

こういう啓示を受け、一週間ベッドで考え続けました。  
そして再度啓示を受けました。

「神は私たちを通じて至るところに、キリストを知るとい  
う、  
知識の香りを漂わせてくださいます」

( II コリント 2:14 )

香りを漂わせる・・・、それはなにか？  
私は花が好きでしたから、花というのがすぐにピーンとききました。  
香りの高い花、その香りが高いというのは、その人が最も愛する花が一番香りが高い。  
香りがあるのはその人しか分かりません、好きな人。  
それから画きだしたんです。  
そして現在4000枚、私の手元にも1000枚あります。  
で部屋に展示してあるのが100点ぐらいですね。



※ 小野さんは、膠原病の副作用で全盲となった四ヶ月の間も、ベットの前に花を置いてもらい、絵を画き続けられました。  
当時入院されていた病院の院長先生方は、心眼、または神眼で画かれていると評されました。  
小野さんは現在両目とも視力1.5、老眼もありません。

● 3点セットは、直接食べるのではなく、ミキサーにかけなければダメなんですか？

なぜ直接食べるのではなくミキサーにかけるのか、それには理由があるんです。  
いいですか？野菜をこんなどんぶり一杯食べられますか？  
食べられるなら食べてください。よく嚙んで。  
ね、そうでしょ？ それだけ大量の野菜を摂りなさいということです。  
作ってみられたら分かります。  
こんな大量の野菜でも、ミキサーにかけると、あっという間に小さくなります。  
それをなぜ水で薄めて飲むか、人間はほとんど水分で生きていると言ってもいいでしょう。  
人間の体はすべて水でコントロールされています。  
だから水分の補給にもなり、ミキサーにかけた泥状を直接飲むよりも吸収率が高いんです。  
だからこれを三度三度、普通のグラスは180cc入ります。  
健康な方は朝一回、または朝夕二回で結構です。  
これはちょっと大きいので200ccほどありますが、これにだいたい半分で100ccですね。  
青い泥状のジュースを100cc～120cc入れます。  
そして水をいっぱいまで加え、それを二杯飲みます。  
ですから青ジュースだけで400cc飲んでいきます。  
けれど本体は半分ぐらいですよ、でもある時には6分(120cc)入れることもあります。  
上だけを水と混ぜて飲む、あとまた水を加えて飲んでますしね。

水分をしつかりと摂る。  
水分をしつかり摂ることは、健康の基本でもあります。

● 作り置きはできるんですか？

作り置きもありますよ。私は3～4日分作っておきます。  
その代わりしっかりとフタをしたガラスの容れ物に入れてください。  
そして冷蔵庫に入れておくんです。  
ミキサーにかけたものは凍ってもまったく問題ありません。  
生の野菜のままでは凍らせてはダメですけど。

● それを水で薄めるんですか？

はい、スプーンで200ccのコップに100cc～120cc入れ、  
水をいっぱいに加えます。  
味わって飲むものじゃありませんから。  
グーッと、男性がビールを飲むように、一息で飲んでください。

● 他にご飯や食事は召し上がらないんですか？

私はいただきません。  
この3点を食べたら、結構お腹が大きいですよ。  
だからこの3点を食べて、ご飯を食べる女性は大丈夫っていうか・・・。  
もしどうしても食べたければ、食パン一枚ぐらいですかね。

※ 3点セットの資料に、小野さんの一日の食生活の内容が書かれています。

それと牛乳を飲んでいる方は、牛乳をできればやめてください。  
私のところに、牛乳が好きで、頭が痛い痛いと言われる方が来られるんですよ。  
牛乳を豆乳に代えただけで、一週間から10日で頭痛がなくなりました。

● 野菜だけの食事だと、カリウムが多すぎて、ナトリウムや塩分が不足するのではないですか？

健康体でも塩分過剰になると高血圧になります。  
高血圧の方を見てごらん下さい、お漬物でも塩辛いものをバリバリと召し上がる。  
辛いもの、一番の害は塩分です。  
特にがんをわずらっておられたら、塩分はがん細胞を増殖させますよ。  
だから私はまったく使いません。  
煮物に使う場合でも、2g使えばいい方です。一日2gも使いません。  
食物には塩分が含まれていますから。果物にも野菜にも。  
ただし夏場、汗を大量に出す時は別ですが・・・。

● 甲田式療法というのは、定期的な断食と朝食は必ず抜きますが・・・？

それは私のモットーからははずれます。  
日本人というのは、朝食は簡単にすませて、夜がすごく豪華でしょ。  
それは体のためによくない。  
私は朝を十分に摂って、もし抜くんなら夜を抜いてほしいぐらいです。

だから夕食は簡単に。

それと甲田式は野菜の水分だけを摂っています。泥状にはなってません。

それと断食といっても、野菜ジュースは飲んでます。

まったくの断食じゃないんです。

#### ● 野菜、根菜類の割合は？

それは適当にやってください。

これは何グラム、あれは何グラム、そんなのは関係ありません。

そんなことこだわっていたら作れません。

15種類の食材ですよ、それをいちいち量っていたら一日かかります。

目分量でいいんです。

とにかくまんべんなく一緒に摂るということです。

食材は少なくとも5種類は入れてください。

#### ● 小野さんは広島ご出身ですか？

はい、生粋の広島人です。

#### ● 原爆には遭われたのですか？

はい、原爆も体験してます。

ちょうど15歳の学徒動員です。

原爆の下もくぐり抜けました。銃爆撃も受けました。

艦載機で上からの機銃掃射、その中をくぐり抜けてます。

#### ● どこに住んでおられたのですか？

広島と呉を行ったり来たり、呉は海軍工廠(かいぐんこうしょう)がありますから、私は鋳物実験部にいました。

広島にはしょっちゅう来ていて、ちょうど原爆の日も広島駅に来ていました。

原爆が落ちたのが8時15分です。

広島駅はいろんなところから列車が来る放射線状になっていますでしょ。

8時10分前後には、呉線、本線、可部線、芸備線、全部の列車が一斉にホームに滑り込むようになっているんです。

それからみんなダーッと地下に降りたり、降りようとしてホームにいたりする時間です。

その時にピカーツですよ。

私より二つ下の従兄弟も西練兵場で亡くなりました。

それから四十日間、原爆ドームから350mのところにある本川小学校で自ら怪我をしながら看病をして、死体を何十、何百と・・・。

あそこの運動場に穴を掘って、重油をかけ、男子生徒が上から火をつけました。

### ● キリスト教に出会われたのは？

キリスト教は小さい頃からです。15歳ぐらい。

その頃は聖書の小さいのを救急鞆に隠して、防空壕の中で読んでいました。

憲兵がいるでしょ、憲兵に見つかったら引っ張っていかれますから。

### ● ご両親もクリスチャンでいらしたのですか？

母がクリスチャンでした。

父は仏教徒です。

母がキリスト教関係の学校を出ています。

### ● 最初の臨死体験で、黄泉の国に行かれた時の様子を、よかったら教えてください？

みなさんどうですか？(拍手)

一度お話したことがあるんです。

聞きたくない人もいますよ、だからその時は座をあらためました。

大丈夫ですか、みなさん。(は一いと大きな拍手)

本当にいいですか？(拍手)

めったに話をしませんけど、だけど言いましょう。

いわゆるこの世で私たちは肉体を持っています。

で、五感を持っていますよね。

その五感は何を作りますか？

感情を作るでしょ。

感情はすぐバーツと浮いてくるものじゃありません。

目で見て、あッイヤだ、心の中で感情がイヤだイヤだイヤだ、見たくない。

そうでしょ？ 耳で聞きますよね、あれ、あの人私の悪口を言っている、あの人の前はイヤだ、これも感情のひとつ。

触るのもそうです。

五感を通して感情が作られます。

だから心ですよ、感情は。

私の孫が小さい時に、私がお風呂に入って

「気持ちいいわよね～」って言いましたら、その子どもが

「気持ちちょうだい、おばあちゃん」て言うんですよ。

気持ちちょうだい？ 私何か言ったかしら？

今気持ちいいって言った、お風呂上がりだからね、その気持ちをちょうだいと言う……。

出せるもんじゃない、「は～い」なんて取り出せません。

心でしょ、心は目に見えない、肉体に付随している、感情を作る、それが行動に表れる。

言葉になって、みなさんと刺激し合ったり、仲良くなったり、いろんなことをします。

その心です。

いいですか？ 心は肉体が死んだら一緒に死にます。無くなります。

なぜなら五感が作り出しているのですから。

私たちが死んだら肉体はどこに行きますか？

火葬場に行くじゃないですか。そこに心が残るわけない。

その心の奥に魂があります。

いいですか？ この魂は死んでも残ると言われています。

そしてその魂の奥に霊があるんです。

分かりますか？ 魂と霊の違いが。

魂はさまよう、だから死んで一週間以内は家の周りをさまよって、法要しなければならないとか、いろいろあります。

その魂の奥に霊があるんです。

霊はさまよいません。

けどその霊が、生きている間に大きく成長するかしないか、そこなんです。

魂の奥に霊があり、その霊が命を持っているんです。

一番はじめに言いましたでしょ、人間は土から作られ、鼻の穴から神が聖霊を吹き込まれ、そして命が宿った。

これです。分かりますか？

この霊、みなさんの中にあるこの霊を、生きている間に豊かに成長させるということに、永遠の命があるんです。

だから人間肉体は滅びても、永遠の命は絶対に死ぬことはありません。

だから私は死を恐れないんです。分かりますか？

死は最終的なものではない、肉体がダメになるだけ、そして私たちは肉体がすべてではない、そうでしょ？

肉体がすべてだったら、私はここに立って、こうして歩いているわけではない。

私の存在は、霊が肉体を支えている。

でも肉眼で見える場合は、肉体がなかったら、みなさんとこうしてお会いできません。

だから肉体があるということはたしかです。  
その霊をみなさん全員が持ってらっしゃるんですから。  
その霊を生きている間に豊かにしてください。  
向こうは魂の国とはいいません、霊界といいます。  
そうでしょ？

私は信仰を持ちなさいというのではないんですよ。  
自分が信頼できていれば、霊は豊かに成長することができるんですからね。  
日常の心がけだけで、必ずしもあれをしなさい、どこかに行きなさいということはないんです。  
でもあえて言えば、信仰を持ってくださいと願っています。  
信仰とは、信じて仰ぎ見ること。

「希っている事柄を確信し、まだ見えない事実を確認することです」

(ヘブライ 11:1)

目に見えるものに希望をおくのではなく、目に見えないものに希望をおくのです。  
そこに内なる人が清められて、霊は豊かに聖霊の導きによって成長していくのです。

その霊界、四つの段階があります。  
一番下は、真っ黒い煙と真っ赤な炎で包まれた第一段階。  
そこへ行って、さらに四つに分析して帰りました。  
ひとつはですよ、ちょっとむごいことを言うようですが、湖というか、泥沼です。  
その中を何かが泳いでいました。(第一段階の1)  
なんだろう、泥沼の中だからワニかカバカ・・・、そばに行くとじーっと見たら、淵のところにしがみついているキョロキョロキョロキョロ、絶対に人間の顔です。  
でもその人間の顔が正常ではないということ。  
なぜ上がってこないんだろう？ 上がれないんですよ。  
ちょうど魚が淵のところに来てアップアップしても上には上がれません、そんな感じです。  
よく見れば手足もあります。  
でも上がってはこれない沼地の人間。

その体は霊体といいます。  
私たちは普通の人体です。  
こちらは肉体があって中に霊がある。  
向こうには霊が行くから、それにふさわしい体ができる、これを霊体といいます。  
その霊にふさわしいんですよ。  
いいですか？ この世でいかに顔が醜くて、怪我をして手足を取られる、あるいは顔を手術して半分ない、世にも醜い姿であっても、その霊が素晴らしい霊であったら、向こうではそれにふさわしい霊体ができるんですよ。  
地上にある時、自分のために生きてるんじゃない、あなたのために生きてるんだ。  
あなたに何をしておられるか、こうして欲しいと言われてたら、我が身を削ってでもその人のために幸せを・・・、その思いが、行動が、祈りが、霊を豊かに成長させ、地上の生活を終えた時、霊

は霊界に行って霊体となる。

本当に正常なところは、霊界の三段階、四段階です。

すごい紳士淑女たち、こういう人たちが世の中にいるのかな？ というようなところですよ。

一番下の沼地の世界でも、その次の段階（第一段階の2）でははっているんです。

トカゲや蛇みたいに、エツ、なんで足があり手があるのに、立って歩かないんだろう？

シャーシャーシャーシャーとはうんです。

その次（第一段階の3）は四つ足、動物です。

尻尾があるのかなと思って見たんですが、ありませんでした。

次（第一段階の4）は立って歩いています。

ここは第一段階の一番いい状態にあるんでしょう。二本足で立ってますから。

でもその人たちの顔を見ます。

顔がちょうどピカソの絵、分かりますか？

右と左がずれていたり、顔が半分無くなって後ろにいて……。

エツ、どうなってるの？って思いますが人間です。

一番下はこんなふうに四つに分かれます。

それから二段階目、ここは普通です。きれいです。

青々とした野原、けれども花はそこには咲いていませんでした。

人影もまったくありません。

小鳥はさえずっていました。

晴れやかないいお天気でした。

それから次に行きました。

そこを三段階目と四段階目に分けたわけなんです。

私はその中段に行きました。

中段に連れて行かれたのは、そこからは上（四段階目）も下（三段階目）も見ることができるからなんです。

上は素晴らしいですよ。

上に行かれないんですかって言ったら、パッと上がりましたね、瞬間的に。

アロンが私を支えてくれて、抱いてくれるんですよ。

それであつという間に上の世界です。

すごいです。見たこともないような大きな建物、後で調べてみましたら、黙示録に出てきています。

黄金の、ダイヤモンド、サファイヤ、ルビー、そういったものでキラキラキラキラ輝いています。

その明るさ……、ものすごい光ですが、絶対にまばゆくはありません。

心まで研ぎ澄まされたような、きれいな、疑ってしまうような、こんなことあるんだろうかなって……。

そこへ行っている間は、自分が死んで来たという意識はまったくないんです。

体もそのままですから。

そこは花がきれいに咲いていますし、小鳥も飛んでいます。  
その前に大きな宝石の塊のような建物があり、お庭があるんですよ。  
そのお庭から私の間は、ずーっと草原のような感じ。  
そしたらその建物の中から、2メートル以上もあるような背の高い白い衣を着た方が空中を歩いてこられるんです。  
顔は光り輝いていてハッキリとは見えません。  
ちょうどイエスが海の上を歩かれましたが、それとよく似ていますね。

その方がスーッとこっちに来られて、かなり隔てていますが、衣をサーッと上げて、手をあっちに行きなさいという感じで動かされるんです。  
招かれているんでしたら、手を逆の方に動かして「来なさい、来なさい」でしょ。(笑)

だからよかったわけです。  
だまったまま。ニコッと笑ってね、三度。  
あのね、三度というのは特徴なんです。  
聖書の中を見ましたら、3、4、7、・・・7は最高の数字です。  
そして三度というのは、イエスが語られる時三度、あらゆるところに三度というのが出てきます。  
三度、まだ来るべきじゃありませんと・・・。

目を閉じた瞬間、パーッとベッドの上でパッチリです。  
それで主治医たちがエーッとこうやってのぞき込んでらっしゃいました。  
これがその写真です。

以上です。(拍手)







● もし小野さんが51歳の時に病気にならなければ、現在の人生はどうなっていたでしょうか？

変わっていたでしょうね。

私は病気になったことをすごく喜んでいますが、最高に感謝しています。

だから「あなたはがんの末期です」と言われた時も、

「ありがとうございます。私にとって死はありません。

死は私にとって凱旋門です」

と答えました。

どうです？ だから今生きていて、あと何年生きられるかは分かりません。

その死の門は必ずくぐらなければなりません。

私は御旗を持った勇者として凱旋していきます。(拍手)

だから死は私にとって喜びなんですよ。

考えをちょっと変えるだけで、死は喜びにつながる、みなさんにもそうあってほしい。

そしたら恐れることは何もないんです。

あなたの状態はこうですよ・・・、へっちゃらです。

私に死はありません。

こういうふうにならなければいけないんですよ。

私は難病の方にたくさんお会いしました。

けど難病があるわけじゃない、先生から難病で死ぬと言われても、死を選ぶのは自分自身です。

難病になった、それは先生が病名を付けたんであって、自分にとっては難病じゃない。

そうでしょ？ 難病は治らないんじゃないんです。

『治る』、確信です。

そして治してみせるという信念です。

悪いものは速やかに破棄する。

いいことは即実行する勇気と力、そしてそれを続ける努力、

この三つが自分を生かし(活かし)ます。

いいですか？ そのためには何をしなさい、かにをしなさいとは絶対に言いません。

ただ治ると確信する。

これは病気だけじゃありません。

何にしる、自分が事業を持っている、持っているのならそれを成功させる。

誰のため？

世の中のために！人のために！

そうでしょ？ 自分のためじゃないでしょ？

その事業を興して成功するのはあなた方のため！

より多くの人々が富める、お金じゃなくて心が富める人を作るために費やす。

それが第一ですから。

だから皿洗いからはじまり、あの松下幸之助さんだってそうですね。

電球一個から今の松下電器を作っていったんですよ。

そこです。絶対にできる。できないんじゃない。

できると確信をする。

そしたら、それに向かってやるという一歩を踏み出す勇気と力です。

そして途中で挫折しそうになります。

今の3点でもですよ、続ける人が何人いますか？

一ヶ月やったけど続きません、続かないんじゃない、自分の努力が足りないんだ。

そうでしょ？

だから一歩を踏み出す勇気と、力を持ってはじめてんなら、最後まで努力して続けなさいって言うんです。

事業だってそうです。

そうやって努力し続けるから大成するんです。

遊んで楽しんで美味しいものを食べ放題食べて、それで成功したり健康になったりするわけがない、そうでしょ？

その三つをキチンと心得て、明日からの生活の中で役立てていただきたいと思います。

そしてもうひとつは笑顔ですよ。

いいですか？

笑顔で、笑ってみてくださいよ。わーっと。(笑)

そうそう、その笑顔を忘れないこと。

朝起きたら、お家の人、奥さんなら旦那さんに「おはようございます」、

旦那さんなら「さあ今日も頼みますよ」って、笑顔を奥さんに向けてください。

そこには夫婦げんかなんか起こりますか？(笑)

ねえ、笑って夫婦げんかする人なんかいないじゃないですか。

いいですか？

朝起きたらすぐに鏡を見て、自分の最高の笑顔を作っていくんですよ。

笑顔にもいろいろありますからね、横を向いたり、斜めになったり、どれが一番チャーミングか・・・。

そういう笑顔を作って、日々相手に差し上げてください。

必ず変わっていきます。

ありがとうございました。(拍手)

\*\*\*\*\* 花束贈呈 \*\*\*\*\*



いいですか？

がんばってくださいっていうのは、私にとって禁句なんです。

マイペースで努力し続ける。

自分のためにするのではなく、相手の幸せを願ってことをする。

この二つ、その一步を踏み出したら続けてください。

そしたら素晴らしい人生のデザインがあとに残ります。

いいですね、素晴らしいデザインを残してくださいよ。(拍手喝采)

小野春子さん、素晴らしいお話、本当にありがとうございました。

\*\* MEMO \*\*

# 小野春子さん 病歴一覽

広島N病院 …… 愛称 ETちゃん

1981年(51歳)

乳癌手術(末期)3種類癌細胞(標本として保管される)

1983年(53歳)

多発性椎間板ヘルニア、股関節左根変形症

1986年

狭心症、頻脈(140~150)、不整脈、欠帯、低血圧

1987年

冠動脈梗塞、心筋梗塞、虚血性心臓炎

1989年

筋肉脱力症、四肢麻痺、歩行困難

1990年(60歳)

ドライアイ、眼底炎症、眼底出血、脂肪肝

1991年

唾液腺硬化症、耳下腺炎、角結膜炎、ドライマウス

1992年

左乳腺炎、肋膜炎、肋膜剥離、心臓肥大

1993年

全身激痛症、硬膜下プロットを始める、顎骨炎症、抜歯(全部)

1996年8月(66歳)

右手腱鞘炎手術2ヶ所、紫斑、赤斑、上半身湿疹、レイノー現象

1996年11月

旧厚生省膠原病専門医による来広診断、全身性血管炎と診断

広島H病院 …… 火の玉が身体の中に入る

1997年

完全型ベーチェット併発、陰部潰瘍、歩行不能となる、血尿

1998年

強皮症、皮膚筋炎、多発結節性筋肉筋炎併発、眼底ポリープ、直腸ポリープ  
肝臓癌、膀胱炎、結節性動脈炎、シェーグレン合併、気管支喘息、  
心臓に水がたまる、四肢関節炎、交感神経不能、肺膜剥離、全身麻痺に

広島A病院 …… クリスマスイブの夜から金色の十字架が現われる

1999年(69歳)

胃・腸管ペーチェット、腎炎、膀胱炎、肝炎、下血、吐血、血尿、レイノー現象  
ヘリオトロープ疹、コットン微候、ムーンフェイス、  
皮膚筋炎による下腹部5コの穿孔、  
頸椎5、6、腰椎1、2、3、4圧迫骨折(全身の感覚がなくなる)  
眼底出血続く、乾質性肺炎、心臓肥大、ぶどう膜炎、視力右0、左0.02  
欠帯、脈無、心筋梗塞、喘息発作頻発、呼吸困難、悪性リュウマチ  
胸部湿疹による潰瘍、2度の呼吸停止、1時間後蘇生、左骨頭壊死

2000年(70歳)

全盲となる(厚生労働省より生涯全盲と診断される)

同年4月

京都T病院 …… 漢方治療を主体とした病院(全盲にて絵を画く)

7月14日、T病院正面上(空中)に十字架が現れる(カルテに記入される)  
全盲となった5ヶ月後手術、右1.5、左1.2に快復  
肋骨7本骨折、舌炎、角膜剥離、ドライアイ強

広島Y病院 …… 地元の病院に戻る

2001年

自宅で胸椎2ヶ所を圧迫骨折、副腎不全、眼底出血続く、角・結膜剥離  
消化器粘膜剥離、顎関節破壊、全身麻痺、胸部腫瘍

自宅療養 …… 2001/12/23より自宅に戻る

2003年(73歳)

腸捻転、一ヶ月間声帯麻痺、咀嚼不可能、陰部潰瘍、心筋梗塞

2005年(75歳)

狭心症、急性中耳炎、眼底通強、充血強、上気道炎症、シルマー検査(涙)100  
右腹部より背中にかけて赤斑(ふくらみ)成人スティール病の疑い  
四肢関節の痛み、手のこわばり、指の腫れ(MMP-3)73、値

2006年

手足の炎症が腹部に至る、3/20大腸ポリープ  
5月現在、頸椎圧迫骨折完治、骨頭壊死完治、肺・喘息完治、両眼1.5

2013年5月27日 帰天 享年84(満年齢83歳)

病気・疲れ知らず、健康、長生き、血液サラサラ

## 小野春子さんの元気の源 3点セット

医学の限界を超えて日々ご活躍されている小野春子さんの元気の源は、神様への祈りと毎日の食生活です。(小野さんは敬虔なクリスチャンです)

小野さんの日々の食事は、「3点セット」と名付けられた野菜から作る泥状のジュースが中心です。このジュースは、小野さんご自身の栄養学の知識と「星野式ゲルソン療法」、「甲田式療法」等を基に作られました。



### 1. 青野菜ジュース ビタミン、活性酵素が豊富で血液をきれいに

小松菜、大根の葉、キャベツ、春菊、ブロッコリー、もろへいや、つるむらさき、チンゲンサイ、パセリ、セロリ、ピーマン、からし菜、わさびの葉 ……

など旬の野菜を10数種類

(健康な方は5種類ぐらいでもOK。すべて生のまま使います)

### 2. 人参ジュース ガン細胞を殺し、視力が向上

人参(無農薬のものは皮をむかずに、そうでない場合は皮を少し削って)

### 3. 根菜 + きのこ類 + 海草類ジュース

栄養満点、酵素、繊維、ヨード、無機塩類が豊富

ごぼう、レンコン、里芋、コンニャク、大根、

昆布、ワカメ、ひじき、あらめ、もずく、きくらげ、

しいたけ、しめじ、まいたけ、えのき、エリンギ、大豆(水煮)等

(ミキサーにかける前、食材をサッとひと煮立ちさせてください)



## \* \* MEMO \* \*

- ・「3点セット」の食材はすべて細かく切り、ごく少量の水を加えミキサーにかけます。  
水の量が多いと、酸化が早く進んでしまいます。  
食材を大きく切りすぎるとミキサーの刃がスムーズに回転せず、熱を持ち、野菜の持つビタミン等栄養素を破壊することになります。
- ・青野菜ジュース  
ミキサーにかける際、少量の水の代わりにリンゴ、オレンジジュース加えてもいいですが、その時は青野菜の中に酸化防止のためレモンを数滴たらししてください。  
キャベツは、八百屋さんが捨ててしまうような外側の葉の方が甘くて栄養豊富です。
- ・根菜 + きのこと類 + 海草類ジュース  
ゴボウは細かく切った後で水にひたしアク抜きをしてください。  
ひと煮立ちとは煮込むことではありません。食材を水から火にかけ、お湯が沸騰したら食材を混ぜ、再度沸騰したらすぐに火を止めてください。
- ・小野さんの毎日の食事はこの「3点セット」が中心で、これにタンパク質補給に豆腐を半丁から一丁、豆乳200ccほど、それに全粒粉のライ麦パン、うすい塩味の味噌汁、バナナ、リンゴ、ミカン、ブドウ等季節の果物一個などが加わります。
- ・生活習慣を改める第一歩は、まずは肉体を作る食事から。  
第二は睡眠、午後10時までに布団に入るのが理想です。  
第三は肉体や頭脳を酷使しすぎないこと。  
生活習慣の乱れは万病の元です。
- ・肉食が多くなると、性格が荒々しくなり、持久力がなくなり、キレやすくなります。
- ・大人も子どもも、牛乳は飲まない方がいい。
- ・難病を治すのは自らの心がけ、生活習慣です。薬にだけ頼ってはいけません。
- ・血液がきれいになると、脳の働きがよくなり、気持ちも明るく前向きになります。
- ・生の野菜は体を冷やすからと毛嫌いする人は、血の巡りが悪くなり、皮膚が乾燥し、肌の色つやが悪くなります。
- ・ほうれん草は生で食べる方が体にいい。(無機シュウ酸カルシウムを摂取できます)  
生のほうれん草、サニーレタスを手でちぎり、タマネギスライスを加えて酢味噌で味付けします。スライスしたリンゴ、黒砂糖やハチミツを加えてもOKです。
- ・野菜に含まれる植物繊維が大切な働きをしてくれます。  
市販の野菜ジュースは食物繊維が含まれていないので、効果がありません。

いいと思ったことはすぐに実行しなさい。

大切なのは、その一歩を踏み出す勇氣、  
そしてそれを続ける努力です。



**3点セットで二十代のサラサラ血液に！**